

先端リグニン材料研究センターの設立について

片柳研究所に先端木質材料の研究開発を目的とした先端リグニン材料研究センター (Research Center for Advanced Lignin-based Materials[RCALM]) を設立しました。

設立時期：2023年4月1日

センター長： 山下俊教授（工学部応用化学科）

場所：片柳研究所棟9階（八王子キャンパス）

センター長の山下教授らは近年、日本固有種の樹木である杉からとれるリグニン誘導体（改質リグニン）を用いて高付加価値材料を開発する公的資金プロジェクトを実施しています。この技術をさらに推進し、成果を社会還元し、脱炭素社会実現に貢献するためには、改質リグニンの製造、加工、応用等を総合的に実施する研究拠点が必要となります。そこで、本学に「先端リグニン材料研究センター」を設置し、木質資源から高付加価値・有用材料を開発する技術開発を行い、国内外の関連する研究者・企業の拠点として研究を集約していきます。

以上